

報告日 令和8年1月21日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	TETAU事業協同組合			代表者名	森脇 碌
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	なし	連絡先電話番号	050-5536-9139
担当者役職	理事	担当者氏名	森脇碌	連絡先E-mail	
住所	〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田185-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	和歌山県	連絡先部署	商工労働部労働政策課	
担当者氏名	上西紘平	連絡先電話番号	073-441-2790	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	働き方改革・テレワーカー養成研修&集いの場運営業務	
概要	県内で子育て・介護中、療養中、障害を持つ方など働きにくさを感じている人たちに対して、時間や場所にとらわれない自営型テレワーカーという働き方を普及させ、ICTを活用して誰もが自分らしく働き、活躍できる地域を作りたい。そこで、民間と自治体が連携して地域のみなさんを育成しながら、柔軟に働ける機会を創出していくための取組方法について助言をいただきたい。			
支援を求める分野	働き方 テレワーク			

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	講演&フォローアップ(実地)	9時00分	17時00分	90
派遣場所	会場名		最寄駅	JR白浜駅	
	所在地		最寄駅からの交通手段	送迎	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋	
評価	大変良い	
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	今回は前回のアドバイスを受け、基礎自治体との話し合いの場を設定したが、それを受け準備をしてきてくださったことにより、大変有意義な意見交換ができました。上前氏のアドバイスのおかげで具体的なアクションプランが見えてきました。	
アドバイザーへの要望事項	今回の3回の派遣が終了しても、ぜひ続けて支援をしていただきたいと思っています。	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	8人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3		5	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自営型テレワーカー育成に向けて県の事業として8年間行い、400人以上に参加していただいた。毎回、定員を超える申し込みがあり、ニーズは多いが、自営型テレワーカーとして仕事ができているのは10%にとどまっている。自分で受注し、自律して進めていく、ということは多くの方にとって難しく、働きにくい人を働くことに繋げていくために何ができるのかを、官民が連携して考えていく必要を感じている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	立科町の「社会福祉型テレワーク」という中間支援法人が就労支援するという形を知り、それが和歌山県で実行することができるのか、またどのような形が適しているのか、などを県・基礎自治体・民間企業・ワーカーなどが参加し協議して、和歌山の形をガイドラインという形でアウトプットし、次年度以降のプランを作成すること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	働きにくさを感じている人たちに働く場を提供するために官民が連携していく必要があるという課題に対し、前回、和歌山県労働政策課との意見交換を行なった際に、県という立場では立科町振興公社と同じような取り組みが難しく、実施するならば基礎自治体であるという意見で一致した。そこで今回は基礎自治体の代表として、ICTの取り組みに力を入れている白浜町との場を設定し、どのような取り組みができるのかの意見交換を実施。立科町の事例を詳細にお話しいただき、それを元に白浜町で行うならばどのような形になるのかを考えるための場をファシリテーションしていただいた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	基礎自治体としてどのように関係していくことができるのかの可能性を探ることができた。基礎自治体としてすぐに動くのは難しいが、白浜町長が代表理事を務めている一般社団法人白浜イノベーションハブという法人がすでにあり、そこで活動することは法人の趣旨にも合致しているため、活動が可能であるとの判断が得られた。また、その活動をするにあたり、自治体や企業に対して働き方を知つていただく必要があるということに対しても合意し、来年度自治体や企業向けのセミナーを行うことについても合意した。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 具体的な成果物はできていませんが、今後のアクションプランのロードマップをさらに充実することができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	①和歌山県・白浜町・関係企業（白浜イノベーションハブ・TETAU事業協同組合）がどのような役割でこのプロジェクトを行っていくのかの分担。②①を行っていく上で周知を行うことは必要だとの見解には至ったがどのような場が必要であるのかの協議。③現在実施している「和歌山県委託事業テレワーカー養成研修＆集いの場」をどのような場にしていくのかの具体的な協議。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者全員から意見をその場でいただいたので、アンケートは行わなかった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 次回は同じく白浜町での開催とし、具体的なアクションについて協議したい。現在のところ、白浜イノベーションハブとしての活動においてパンフレットの作成、自治体・企業向けに周知のための説明会やガイドブックの作成、ワーカー向けのガイドブックについては来年度の実施を検討している。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	和歌山県、基礎自治体、民間企業がそれぞれの役割を明確になっている状態で、来年度以降の計画・予算案を策定し、次年度のアクションが明確になっている状態を目指したい。

5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。